



大阪市の衛生的かつ清潔快適な都市づくりを目指して

環境経営レポート

2023年度

(対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日)

(運用期間：2023年4月1日～2023年6月30日)



一般社団法人
大阪市一般廃棄物適正処理協会



作成日： 2023年7月15日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	7
緊急事態対応訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	8

ごあいさつ

一般社団法人 大阪市一般廃棄物適正処理協会は、大阪市内から排出される、一般廃棄物の処理を適正かつ円滑に行うための知識・技術の向上、業者モラルの遵守に努め、来るべき循環型社会に対応できる経営基盤の確率を図るとともに、行政当局・排出事業者との連携による廃棄物の減量・リサイクルを推進し、大阪市の衛生的かつ清潔快適な都市づくりと、よりよい社会・市民生活の実績に寄与することを目的とし、その目的に資するため事業展開を図っていきます。

環境経営方針

環境経営理念

一般廃棄物適正処理協会の活動を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

又、今日我国の重要目標でもあるカーボンニュートラルやSDGsの取組を協会員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギー等により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制を行うため3Rを推進します。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 会員の知識・技術・モラルの向上に努めます。
6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2023年4月1日

代表理事 木下 永績

組織の概要

更新日：2023年6月30日

- (1) 名称及び代表者名
一般社団法人大阪市一般廃棄物適正処理協会
代表理事 木下 永績
- (2) 所在地
事務所 大阪市浪速区恵美須西2丁目14番27号
(大清連会館3階)
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 事務局長 宮崎 善春 TEL:06-6648-5311
担当者 事務局 大上 貴光 TEL:06-6648-5311
- (4) 事業内容
一般廃棄物の適正処理推進のための協会の管理・運営
- (5) 事業の規模
会員数 260 社
- | | 事務所 | 合計 |
|----------------------|------------------|------------------|
| 従業員 名 | 5 | 5 名 |
| 延べ床面積 m ² | 84m ² | 84m ² |
- (6) 事業年度 4月～3月

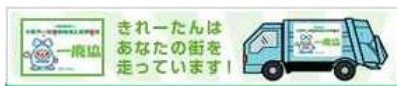
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：一般社団法人大阪市一般廃棄物適正処理協会
対象事業所：事務所
活動：一般廃棄物の適正処理推進のための協会の管理・運営

□事業の紹介

大阪市内から排出される、**一般廃棄物**の処理を適正かつ円滑に行うための知識・技術の向上、業者モラルの遵守に努め、来るべき循環型社会に対応できる経営基盤の確立を図るとともに、行政当局・排出事業者との連携による廃棄物の減量・リサイクルを推進し、大阪市の衛生的かつ清潔快適な都市づくりと、よりよい社会・市民生活の実現に寄与することを目的とするとともに、その目的に資するため、次の事業を行います。

- (1) 社員のためにする教育、研修、福利厚生事業
- (2) 社員相互の交流と親睦のための事業
- (3) 社員たる事業者の経営に関する相談、指導、助言に関する事業
- (4) 一般廃棄物収集運搬事業の経営実態及び利用者ニーズに関する調査事業
- (5) 排出事業者及び市民とのパートナーシップの構築や減量リサイクルの推進に必要なサポート体制の確立
- (6) 行政機関及び関係諸団体への建議、協議、陳情及び協力
- (7) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

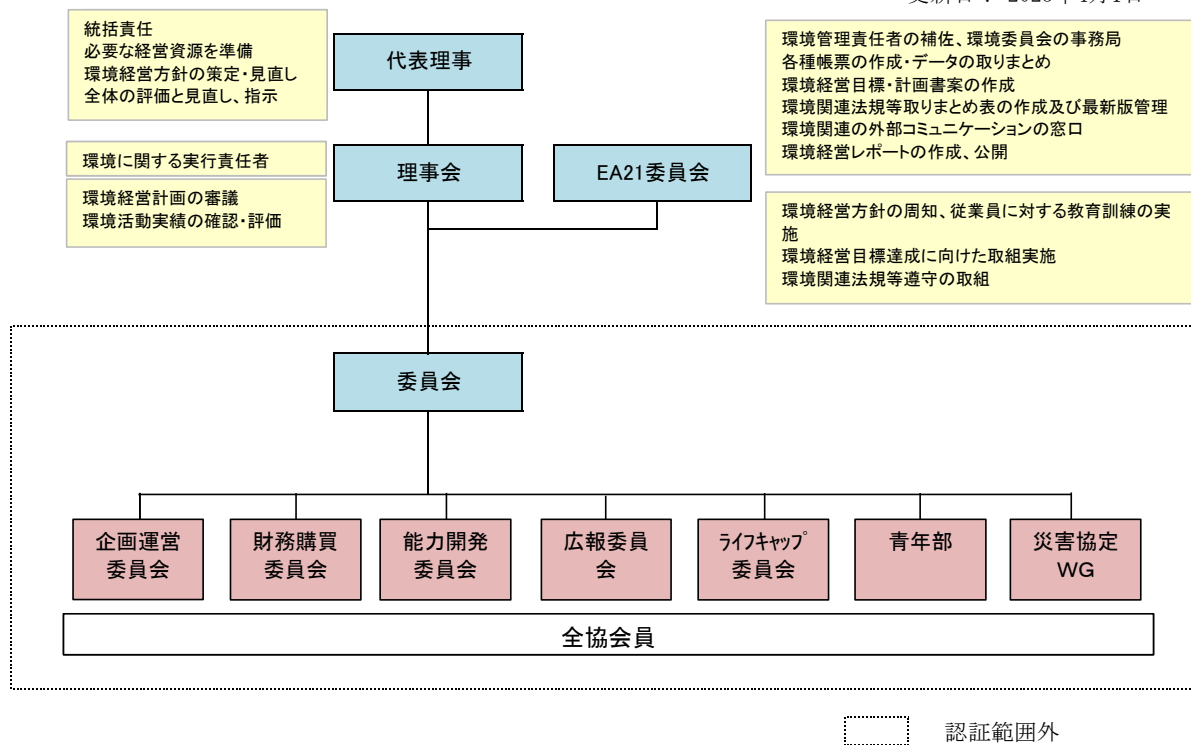


一般社団法人 大阪市一般廃棄物適正処理協会ホームページ

<https://osakaipk.or.jp/>

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2023年4月1日



主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	%	90%以上	90%以上
一般廃棄物排出量	kg	705	170
コピー紙使用量	枚	24,000	4,050
水使用量	%	90%以上	90%以上

※2023年度のデータは期初から期中の途中まで
※二酸化炭素総排出量は、測定不能により定性目標。

環境経営目標及びその実績

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2023年度		評価	2024年度	2025年度
			上段: 下段:	通期 4月~6月		(目標)	(目標)
電力使用量削減 行動目標90%以上 *テナントのため使用量が確認できない	%	90%以上	90%以上	90%以上	○	90%以上	90%以上
	基準年度比	2022年度					
一般廃棄物削減	kg	705	691			490	479
	基準年度比	2022年度	140	137	170 ×	96%	94%
コピー使用量の削減	枚	24,000	23,520			23,040	22,560
	基準年度比	2022年度	6,000	5,880	4,050 ○	96%	94%
水道水の削減 行動目標90%以上 *テナントのため使用量が確認できない	%	90%以上	90%以上	90%以上	○	90%以上	90%以上
	基準年度比	2022年度					
グリーン購入の促進 90%以上	%	-	90%以上	90%以上	○	90%以上	90%以上
	基準年度比	2022年度					
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標(次項による)						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

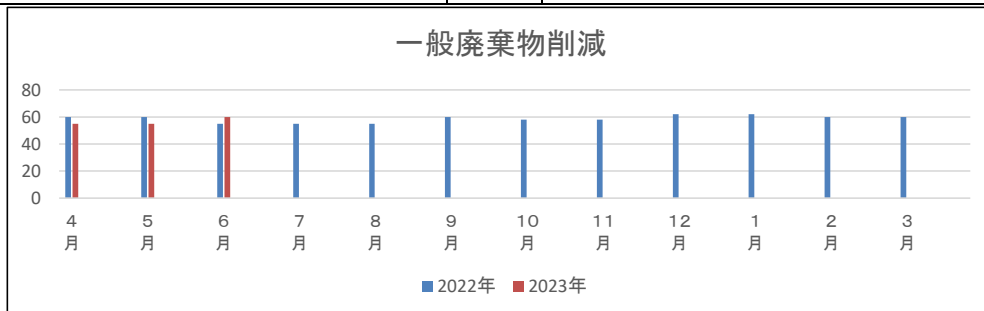
数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	テナントのため使用量が把握できないが、毎日のチェックリストで進捗状況を把握している。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	○	

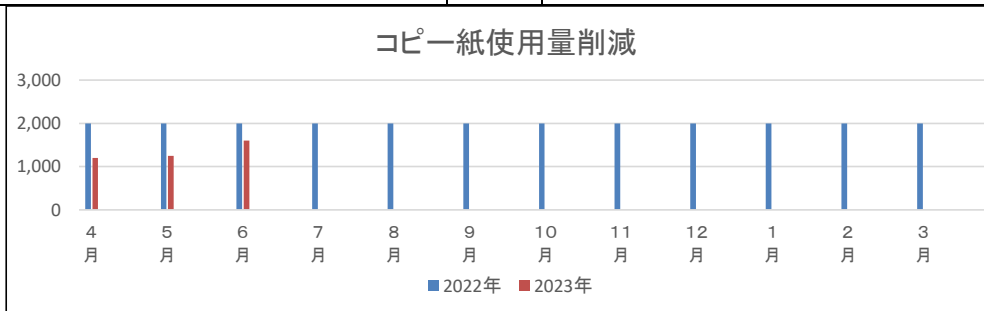


一般廃棄物削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	分別などの徹底が立ち遅れていることが原因と思われるが、徐々に習慣になるように心がけて行く。
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	
・持ちごみの見直し	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	60	60	55	55	55	60	58	58	62	62	60	60
2023年	55	55	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0

コピー紙使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標は達成されているが、電子化へ進めて行く。
・コピーミスをなくす	○	
・用紙の裏面使用の促進	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
2023年	1,200	1,250	1,600									

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	テナントのため使用量が把握できないが、毎日のチェックリストで進捗状況を把握している。
・節水シールの貼り付け	○	
・水道水の止め忘れ	○	
・まとめ洗いの実行	○	
・チェックリストで確認	○	



グリーン購入の促進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	グリーン購入については、商品の選択にエコマークがあるものを優先的に購入を行う。
・事務用品の購入	○	
・節電機能の事務機器購入	○	
・LED照明の購入	△	



課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・EA21取得促進（毎年会員の1%取得）	○	協会としての重要な運営事項であることから、今後とも推進していく。
・能力開発（優良従事者認定制度講習）	○	
・企画運営（エコドライブ推進、交通安全講習）	○	
・ライフキャップ・清掃等社会貢献	○	



協会の取組紹介

一般社団法人 大阪市一般廃棄物適正処理協会

SDGS・カーボンニュートラル推進にかかる研修会

— 次 第 —


1. 開会 ①代表理事 挨拶
②大阪市環境局 挨拶

2. 研修会 ①「持続可能な事業と企業の発展に向けて」
～SDGsを切り口に地域課題を解決～
講師 三井住友海上火災保険株式会社 営業推進部 部長 浅田 隆司 氏

②「自動車保険におけるコスト削減対策のご案内」
～事故削減でコスト削減を実現～
講師 三井住友海上火災保険株式会社 関西企業営業第三部
大阪・関西プロジェクトチーム 部長 土屋 毅雄 氏
公務開発室 課長 島 良一 氏

③カーボンニュートラルの取組（廃棄物処理業者向け）
講師 大阪市環境局環境施策部 環境施策課長 三原 真 氏

3. 閉会



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無


環境関連法規制等名称	該当する設備・項目
・廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
・消防法(消火器)	消火器の点検・管理
・家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機のリサイクル
・グリーン購入法	グリーンラベルの積極的購入
・協会規定	個人情報保護・古紙コンテナ設置運用規定・監視カメラ設置運用規定

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

外部からの苦情・要望はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 令和5年4月17日	■実施場所 大阪市一般廃棄物適正処理協会
■参加者: 全職員	
■実施内容: <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 実施内容に問題は無かった。	
■評価: ビル全体で消防署の指導に基づき訓練を実施した。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日: 2023年7月15日

本格的に取組開始した4月以降では、電力、コピー用紙、水使用量削減、グリーン購入が目標達成となっており取組の成果がでている。
一方、一般廃棄物は未達成となっており、取組の浸透ができていないため、今後、強化を図っていく。またカーボンニュートラルやSDGsへの取組が社会的課題となっていることを踏まえ、エコアクション21を活用して、これらの課題解決に向けて、協会会員挙げて推進していく。

環境経営方針 変更なし 変更あり
 環境経営目標・計画 変更なし 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
 実施体制他 変更なし 変更あり

清掃活動



ライフキャップ運動

ボトルキャップを「HEART♡」に集えよう!!

